



愛妻と脳にやさしい(?)
寝取らせプレイ

はあ…疲れた…

僕の名前は蓮水ユウ。
俗に言う社畜をしている。
最近はお世レースで拘束
される時間が長くなった…

ガ
ク
チ
ャ
…

だがそんな環境
でも頑張れる。

なぜなら…

おかえりなさい、あなた

ご飯にする？お風呂にする？
それとも…

これって…
新婚三択!?



ご、
ごめん
これ予想以上に
恥ずかし…w

無、無理…w
ツボりそう…w

えー…
残念…

愛する妻、リエナがいるからだ



結婚して2年。

リエナとは高校で出会い、同じ大学に進学、
そこで交際を経て卒業と同時に結婚した。



物怖じしない性格で尻に敷かれているが、
美人で明るくて優しくて…
優柔不断な僕を支えてくれる。

笑いのツボが浅いのも変わらないな…

じゃあお風呂先入って来ちゃおうかな
ご飯はその後食べるよ

はー…w

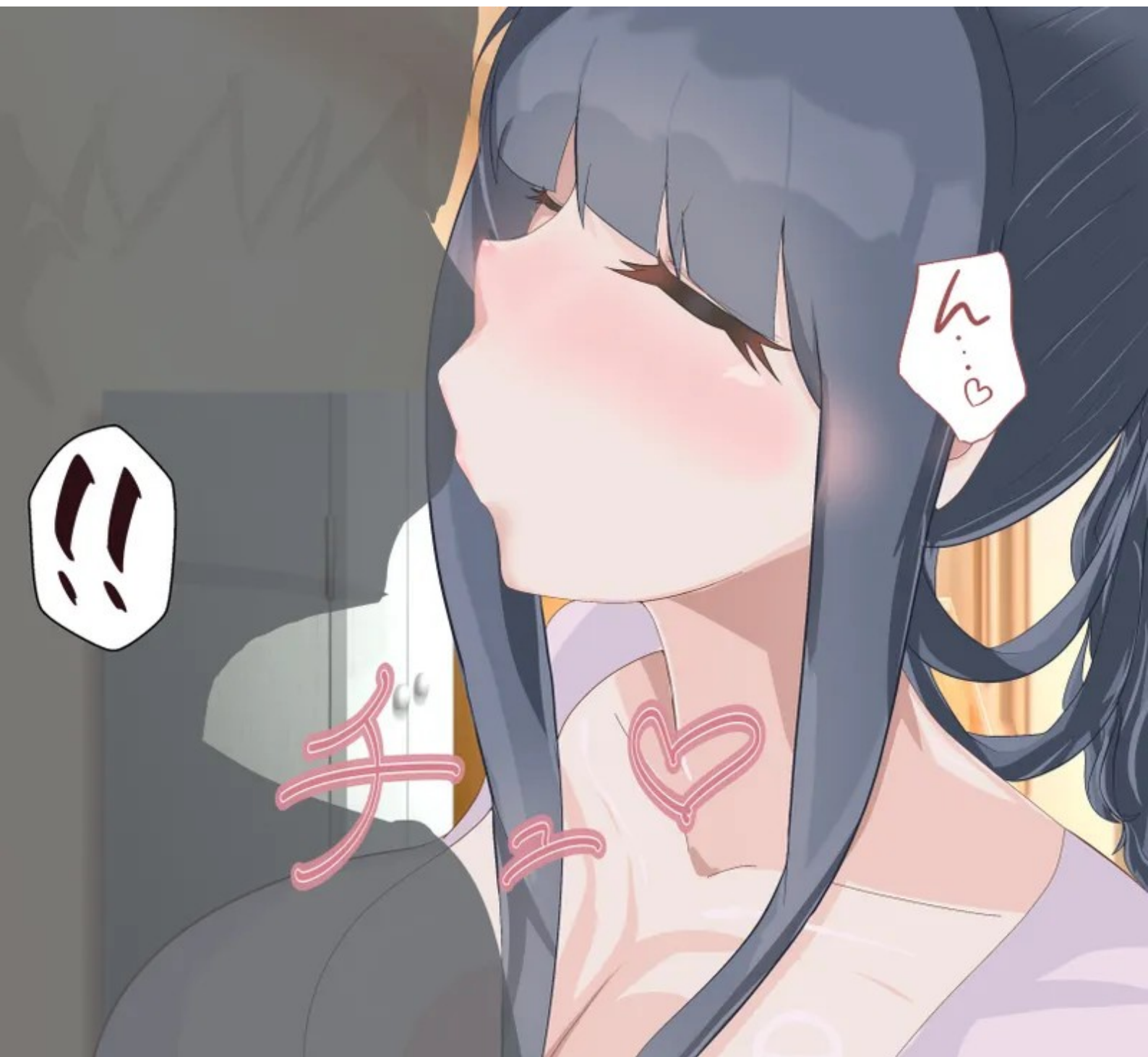
はー…w

わ、わかった
じゃあ準備しとく

うん、いつもありがとう

あ、ちよっと待って







おかえりの
チューー

次はあなたからしてね



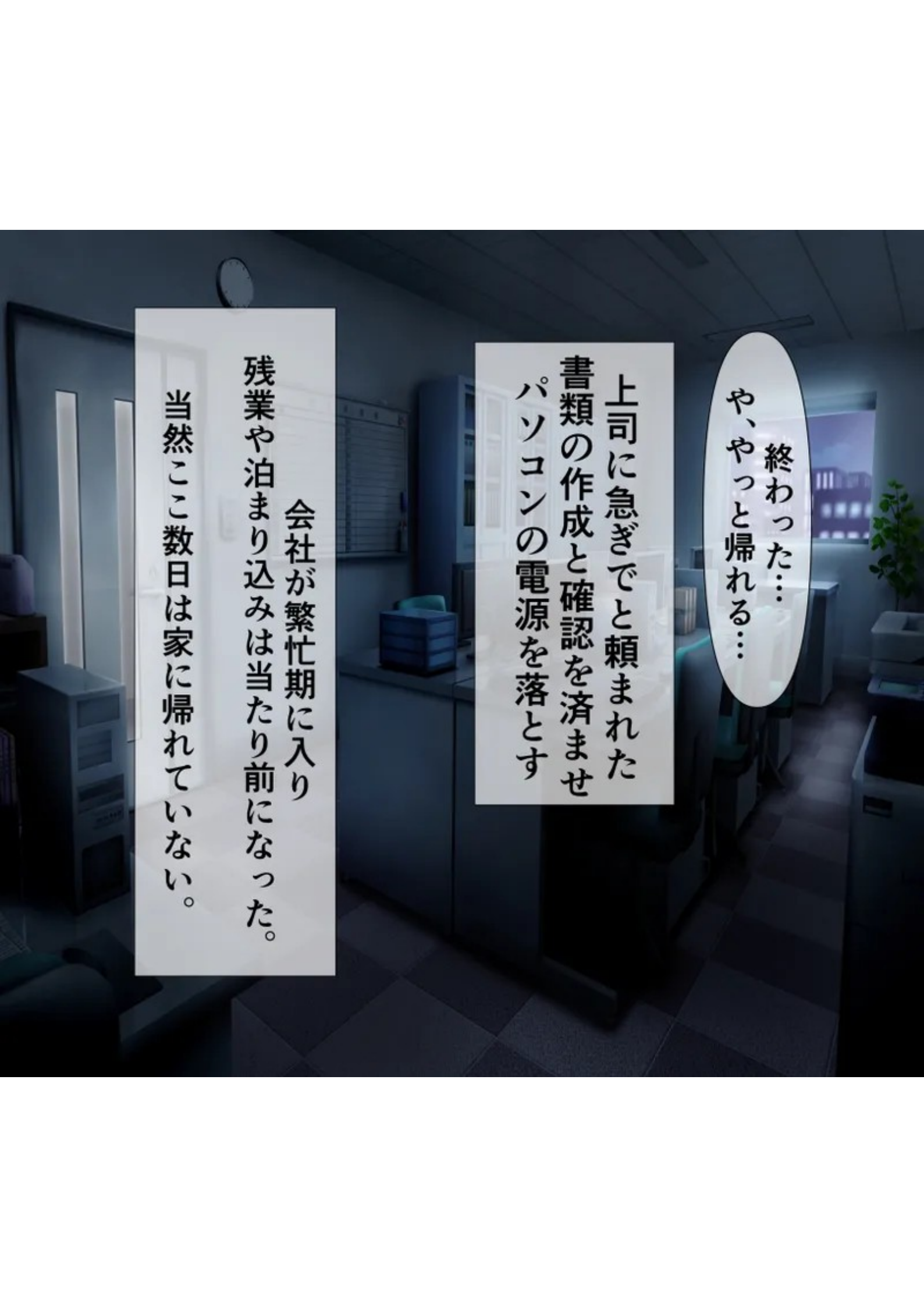
なーんて…
こっちのが恥ずかしいかw

リエナとのこんな日々が
ずっと続いていくんだ
僕はなんて幸せ者だろう

…そう思っていた。

あの日までは





終わった…
や、やっと帰れる…

上司に急ぎでと頼まれた
書類の作成と確認を済ませ
パソコンの電源を落とす

会社が繁忙期に入り
残業や泊まり込みは当たり前になった。
当然ここ数日は家に帰れていない。

そ、そういえば…リエナには
二十一時には帰れそうって言っちゃったんだっ…



仕事に手一杯で気が付かなかった…
申し訳ないな…

早く帰らないと…

23:46

応答なし

蓮水リエナ

パッ



まずい……相当怒ってる……

一応電話をかけて……

こ、怖いなあ〜……

お土産買っとくべきだったかな……

い、いや…物でご機嫌取りなんて…
ちゃんと謝らないと…

そんなことを考えながら僕は
音を立てないようにゆっくりとドアを開け
静かな声で「ただいま」と言った。



オカエリ

……た、ただいま……

ああ……青筋でるくらい怒ってる……
終わった……

ぜんぜんオコッテナイヨ

い、心読むのやめ……



あなたが帰ってくるって知ってから
気合い入れてご飯作ったり
しばらく玄関でソワソワしてたりしたただだよ

うぐっ…

でも9時には帰れそうって
言ってたのに随分遅かったねー連絡もなかったし

なんでだろうね？浮気かなー？
私もシチャおっかなー？

ぐ、ぐめんなさい…



：まあ家のために一生懸命頑張ってくれてるのは
わかってるし：仕事の都合もあるって
わかってるけど…

私もいろいろ準備ってものがあるし…

？
準備？





.....

うんうんの...とか...

!!!

フ
ア
サ
...
...

リエナ：っ
そんな派手なのいつ……

その前に言うことあるんじゃない？
ユー君？



っ…すぐエツ……綺麗だ…似合ってる…

よく言えました
♥

……お仕事、大切なのはわかるけど

こんな美人な妻を放っておくと
他の誰かに奪られちゃうかもよ？

え…!?

指輪見せてるのにお構いなしに
ナンパしてくる人多いんだから…

な、なにそれ…！初耳なんだけど…！



言ってなかったっけ？
例えば…

リエナさん！おはようございます！

あら田中くん おはよ

さ、最近オープンした駅前の喫茶店…よければ一緒に…

行かないよ？

大学生の
田中君とか



数学の山田先生とか

蓮水先生お疲れ様です

ああ 山田先生、お疲れ様です
どうかなさいましたか？

ええ、偶然、本当偶然に蓮水先生の
好きな画家の画天正爺の
個展のチケットを貰ったので
休日私と一緒にどうかと！

なんで私の推しの画家
知ってるんですか？
教えた覚えはないですけど



あとは駅前ナンパ男とか

おねーさん！マジでタイプなんだけど！
マジで！！
五分間だけ！五分間だけ俺にください
おねえさん！無視しないで！



でも一番厄介なのは…

はあ…

はあ…

あと1周…

OH〜リエナさんじゃないですか〜!

!



あベン君
こんばんは

コンバンハリエナさん！
相変わらずお美しいデスネ！

あは君はまた日本語が上手くなったね

最近知り合った外国人のベン君かな



Yeah!
リエナさんの様なお美しい女性と
お話しスルために頑張ってマス!

ふふ 上手なのは日本語
だけじゃないみたいだね
いや元々かな?

あんまり誰彼構わずに
言っちゃダメだよ

どこが厄介なのかって?
うーんとね...





NO!

僕はリエナさんにしか
言ってます!

!?

ギュッ
キッ

すごく積極的な
ところかな



そそっか……
ありがとう……

私の手…ギュッて握られてね
すごく褒められちゃった
お世辞だってわかってても嬉しいね

それにあの子の身体大きくてすごく遅しくて…
自分がすごく小さく感じたの
私も女の中では割と大きい方なのにな

ゴク

あ ユー君に魅力がないって
言ってる訳じゃないから
安心してね



その後どうしたのか？

リエナさん
今度二人で私の友人が経営している
クラブに行きまSHOW

約束します
必ず気に入るト

彼の友達が経営してるっていう
クラブに誘われたよ

私の答えは
もちろん……



……

も、もちろん…なに?!

続きは…!?

急に話を止めるリエナ
聴き入っていた僕はリエナを急かすが…

ふふ 興奮しちゃって…

続き…そんなに気になるんだ?
自分の妻が浮気してるかもしれない
って話なのに…♡

っ………!



ベン君に言ったこと
教えてあげてもいいけど…

お、教えてあげても…何!?

ここだと寒いし
もっと暖かいところで話したいな

たとえば…ベッドとか♡

っ…!!



リエナ！

やあん♡

僕はリエナを
寝室に連れていった。

ふふ ちよつと煽っただけ
なのに随分激しかったね♡

ご じめん…つい…

ニヤ
ニヤ

嫉妬しちゃったかな？
可愛かったよユー君(笑)

クス
クス♡

う…

YES



そ…それで…?

ん?

だ だから…その…
ベン君になんて言ったの…?

あー 教えるって言ったもんね

う
うん…



.....はあ

ちゃんと断ったよ

ほ本当!?

本当。

ていうか本当に浮気シてたら何も言わくない?

そ...そうかもしれないけど...



こんなに美人でモテモテな奥様がいたら
不安でしょうがないもんね ユー君？

っ…っん…

お仕事、大変な時期ってわかってるけど…
あなた結構無茶するし心配してるの

!!

私も心配させないからあなたも
私のことあんまり不安にさせないでね

う、うん…！
わかったよ…！

じゃ ありがとう
私シャワー浴びてくるね



リエナの言う通りだ…
最近はずっと帰れなくて心配を
かけさせちゃったし…
これから早めに帰れるよう頑張ろう

さて…片付けを…



ん…？

なんだ……？これ……？

INVITATION



Ben

BBC CLUB

はあ……！

はあ……！

INVITATION



Ben

BBC CLUB

さっきの話にはこの招待状の話はなかった
ことで否応無しに最悪の展開が頭をよぎる……

ズキ…ズキ…

もしかしたら

もしかしたらリエナが…

僕に嘘について本当は浮気を…？

BBC CLUB

ま、そんな訳ないか…
これで終わり…つと

…
帰るか

カタ

カタ…
ツターノ



ん？

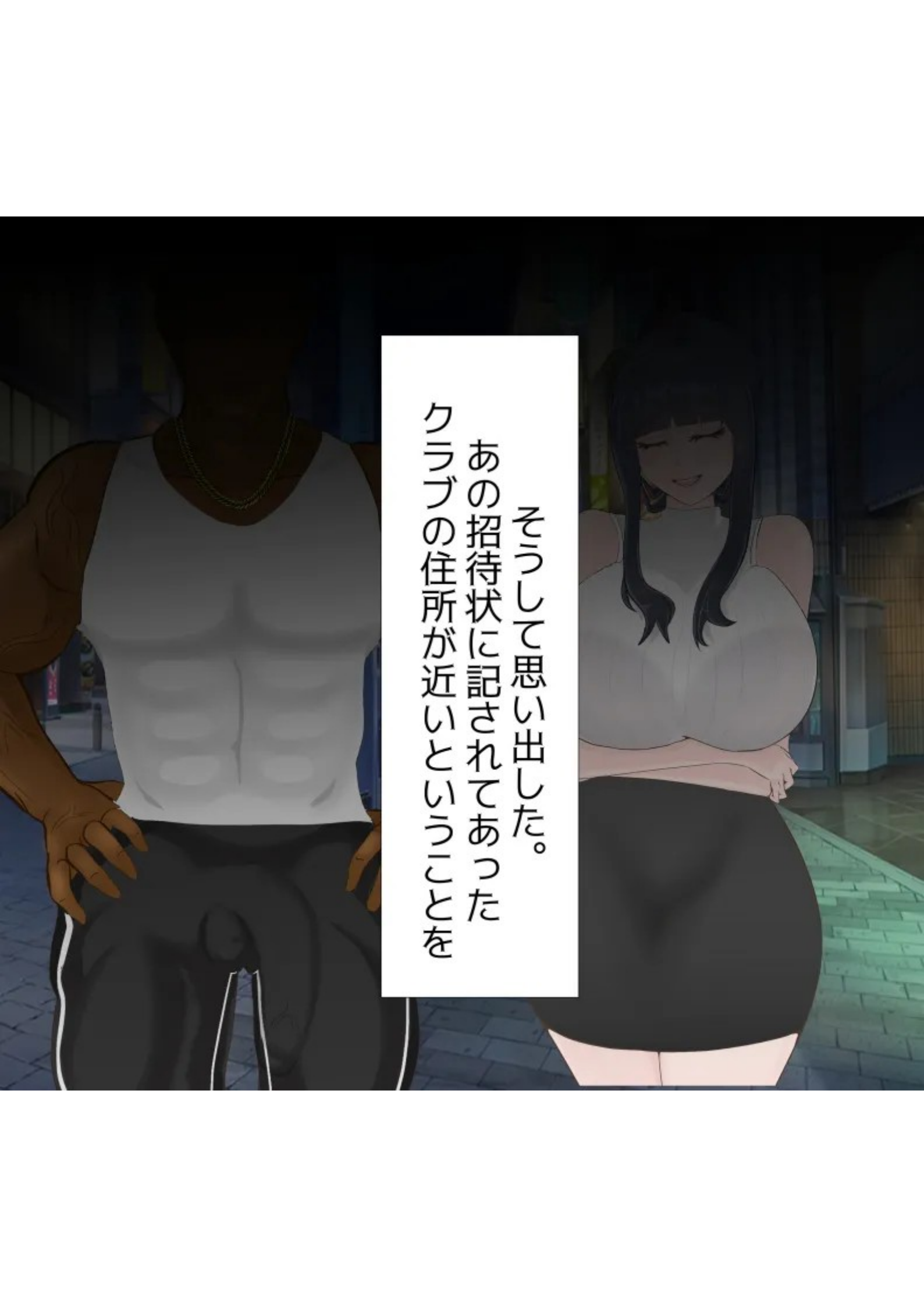
リエナの言葉がなかったら
今頃まだ会社だったろうな…



な、なんで…リエナが…隣の男は!?

楽しげに会話してい二人を
見て僕の頭は真っ白になった…



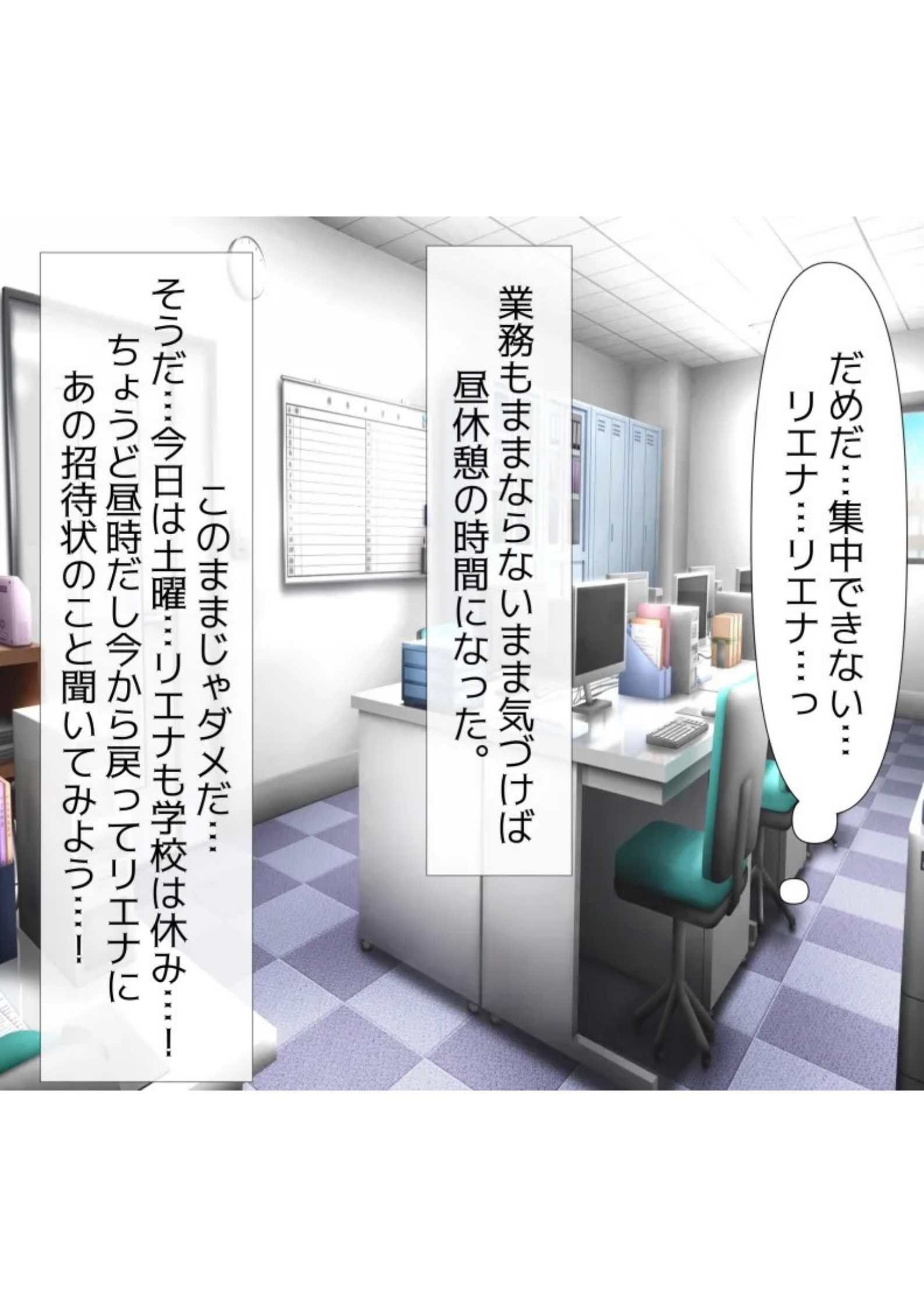
A man and a woman are standing on a city street at night. The man, on the left, is muscular and wearing a white tank top and black pants with white stripes. The woman, on the right, has long black hair and is wearing a white crop top and a black skirt. They are both looking towards the camera. The background shows a city street with buildings and a brick-paved sidewalk.

そうして思い出した。

あの招待状に記されてあった
クラブの住所が近いということ

結局あの後リエナに何も聞けなかった。
かろうじて笑顔を取り繕い家を出たが
会社では何も手につかなかった……





だめだ…集中できない…
リエナ…リエナ…っ

業務もままならないまま気づけば
昼休憩の時間になった。

このままじゃダメだ…
そうだ…今日は土曜…リエナも学校は休み…！
ちょうど昼時だし今から戻ってリエナに
あの招待状のこと聞いてみよう…！

発信中...

蓮水リエナ

Prrrrrr...



僕は会社を飛び出した。

応答なし

蓮水リエナ

ッー...

ッー...

×



はあ……！

はあ……！



はあ……！

はあ……！

は、早く……！

気が気じゃなかった。
それこそ周りが見えなくなるほどに

あれ？あなた？

リエナ!?

なんでここに...

買い物だけど...
そう言うあなたは?



か、買い物……？

うんあなたの好きなお肉
安かったから……って

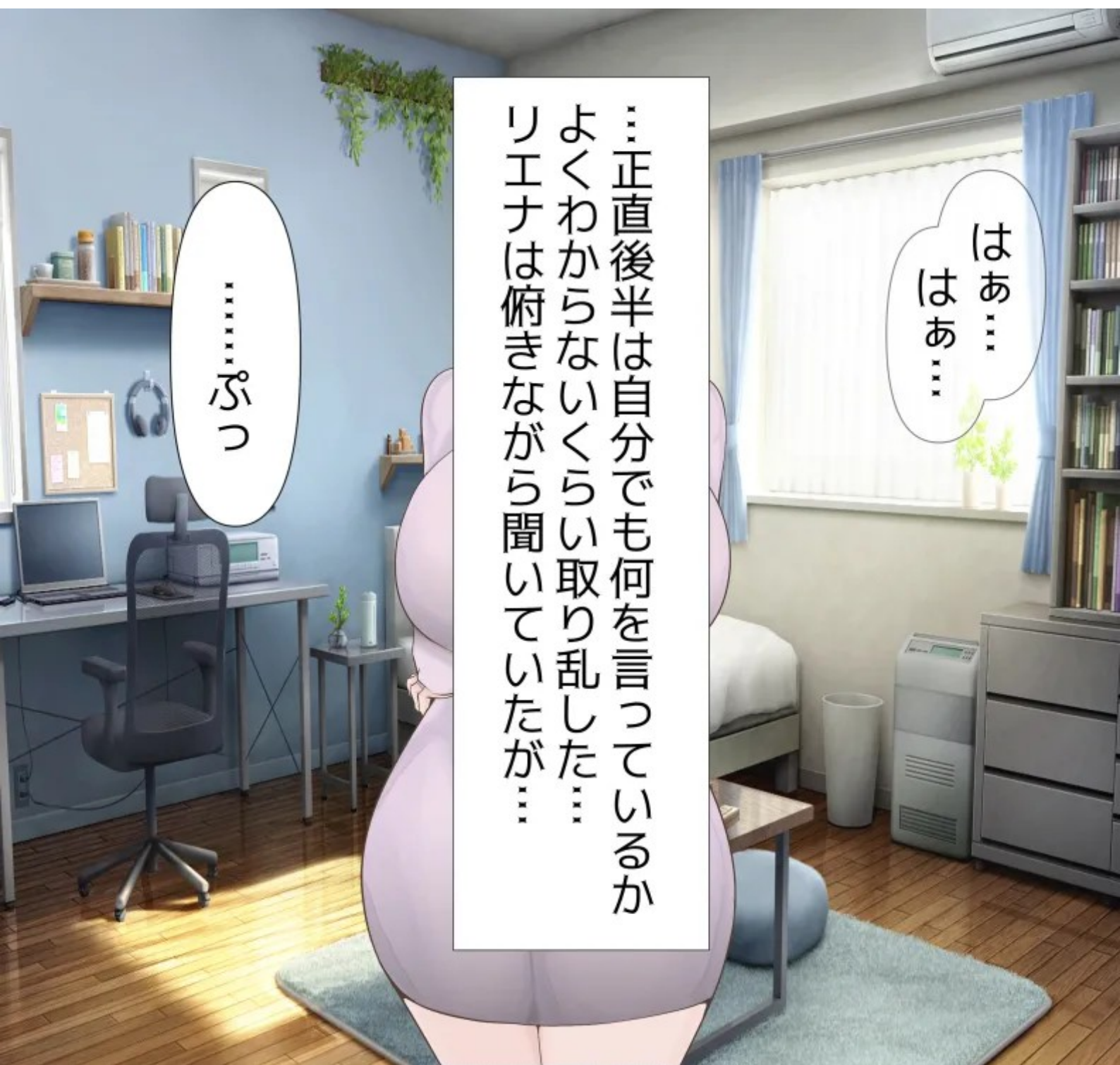
あなた大丈夫……？
顔色すごく悪いけど……

っ
……



僕は思っていることを打ち明けた





はあ…
はあ…

…正直後半は自分でも何を言っているか
よくわからないくらい取り乱した…
リエナは俯きながら聞いていたが…

……
ぷっ



ああごめんなさい…w
クスクス…w

なっ…なんで笑って…

くすっ…くすくす…w



可愛いなあもう…w

っ…リエナ…!

あなた頭いいのに私のことになると
おバカさんになっちゃうのが
面白くってつい…w

ユー君、その招待状を見つけたのは
どこかな？

っ…ゴミ箱だけど…

じゃあもうわかるでしょ？
招待状を捨てたってこと

で、でも…



じゃ、じゃあ昨日
ベンと一緒にいたのは……！

昨日は本当に偶然だよ？
あなたも近道だつて知ってるでしょ？
帰り道に会ったから少し話しただけ

思い出してみても
昨日あなたが見た私の服装



た、たしかに……
昨日見かけたリエナは……

納得してもらえた？

っで、でも……！

ユ一君



さっきからユー君ちよつと変だよ？

へ、変……？

変って……どんなふうに……？

なんていうか……



私が浮気してゐることにしたい
感じの喋り方って感じ

!?

確かに煽ったのは私だけどさ…
そこまでされる謂れはないんじゃないかな？



ま、まずい……
確かにしつこく言いすぎた……
怒るのも当然だ……

それは……
そう……だけど……
ご……ごめん……

欲しいのは謝罪じゃなくて！





どうしたんだ…？
リエナの様子が…

……

……もしかして……





その……

私に……浮気して欲しかったり……する？

!?

な、なんで急に…!?

よくよく考えてみれば
心当たりがありすぎるし…

ベン君とのこととか…
この前のエッチの時とか…

僕は眩暈で倒れそうになるも
必死に否定を…



しかしすぐに言い出せない

「リエナが他の男に抱かれる」一度想像を
してしまえば思考はもう止まらない。

…『寝取られ』…っていうんだっけ…
そういうのって…





えっ……

な、なんでそんなこと知ってるの……？

ハア……っ……
ハア……！

元カレがそういうの好きで
一回頼まれたんだよね…

!?

も…元カレ…?

あんまり聞かないようにしてた元カレの
話がここにきて…っ



っ…そ…それで…
シ、シたの…？他の人と…

するわけないでしょ！
その時は絶対無理って断ったの

じゃ、じゃあなんで今は…!?

それは…



…その人とはそれが原因で
話さなくなつて…別れたから…

え…

アイツに未練がある訳
じゃないけど

それからなるべく彼氏の
要望を聞くようになったかな

要望…つて…？





覚えてない？

高校の頃…男子トイレから大量のゴムが
見つかった事件…

まさか…

うん…そのまなか



当時付き合ってた先輩に呼び出されて……さ

午後の授業サボってずっと
エッチしてたんだよね

っ……！



先輩早漏だったから割と早めに
終わったのにさ



先輩つてば片付けもせずに帰っちゃったの

「男子便所にゴムめっちゃ
あるとかおもしろいじゃん」とか言って

ふーん

まあ…当時は私も面白いかなって
帰っただけだね…
なんか大事件になっちゃって
ビクビクしてたっけ

っ…そ、そう…なんだ…っ

当時話題になったのをよく覚えている…
学校のトイレでセックスというものが現実の
存在するんだと興奮していた…
あれ…リエナのだったんだ…



リエナ…だったんだ…っ





ユー君…聞いてる？

えっ…？

ご、ごめん…聞いてなかった…

もう…だから…

シたいの？寝取らせ

ツツ……！

リエナの痴態を想像するだけで
それまでの憤りや焦りが全て掻き消される。
思考が塗り潰される。



本心を言えば興味がある……
リエナが僕以外の男とどんな
セックスをするのか
どんなふうに乱れるのか

しかしそれを話せば
夫婦の関係はもう戻らないだろう
ここははっきりと断らないと……





……え？何を……

……身体は正直……ってコト？

リエナ……僕は……

おっちゃん
…ソレ

!?

なっ…なんで…っ!?

ち、ちがつ…これは…!



寝取らせ
シても

いいよ

えっ...？

な
なんで…!?

さっきも言ったでしょ
あなたと末永く良好な夫婦を
続けたいから

そのためには要望はなるべく
聞いてあげたいの
夜のこともなんて特にそうだし…



今の性生活に満足していない
わけではない。
しかしリエナは考えていてくれた。
永く夫婦を続けるために……

……
で



.....どうしたい？



…それじゃ、お夕飯
作っておいたから…チンして食べてね

う…うん……



リエナの提案を受け入れて数日…

相手はリエナ自身が決めたいとのこと
当日までは内緒とのことだった。

…もつとも予想はつく。

おそらく行く先は彼の…ベン君のクラブだろう…

……まああんまり遅くする
つもりはないけれど

あなたも最近頑張って
早く帰ってきてくれるし……

……その……







楽しみにしててね





それじゃ
行つてきます

どこか…どこか楽しそうな
リエナは僕に
焦燥感を強く感じさせた。



今ならまだ間に合う
こんなことやめよう……！

言え……言っただ……！

ハタシ...



はあ……っ！

はあっ……！

言えなかった。

僕以外の、他の男を喜ばせるために
身だしなみを整えたりエナは
いつもとは違う…妻ではない別の
魅力を放っていた。

そんな彼女を前にした時…
歪んだ性欲が言葉を詰まらせたのだ。